

安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示とその意味は、次のようになっています。

■図記号の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。書かれている内容を注意深くお読みください。



分解禁止

この図記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示します。
⊙の中や近くに、してはいけない内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



感電注意

この図記号は、警告（注意を含む）を促す事項を示します。
△の中に具体的な警告事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家具、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。



アース工事

この図記号は、必ずして欲しい行為を示します。
●の中に具体的な指示内容（左図の場合は、アース工事を必ず行うこと）が描かれています。

1 はじめに (工事される方へのお願い)

- 設置工事の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- 設置前に電気配線工事がが必要です。あらかじめ行なってください。
- 電気配線工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じ、電気工事登録業者に依頼して施工してください。
- この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しください。

同梱部品の確認

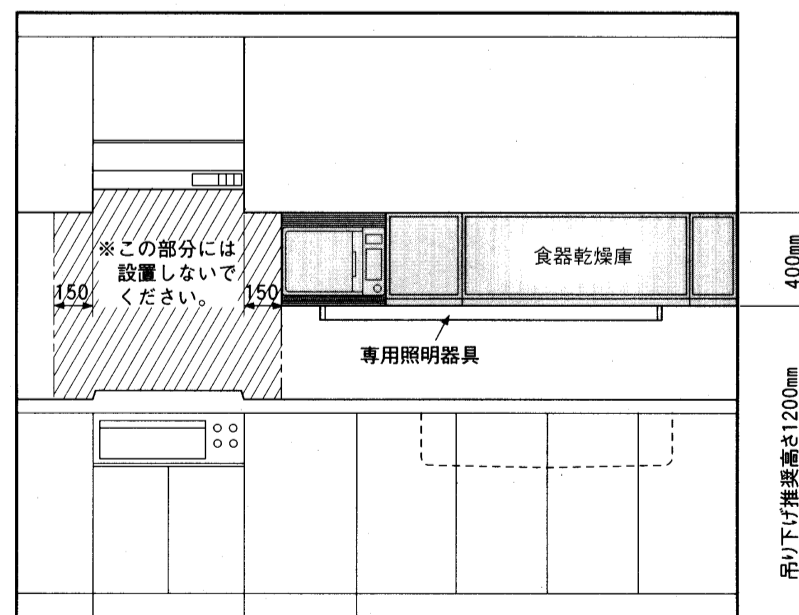
		食器かご		
ご使用時に必要な付属品		BUC-SD90B用 1ヶ	BUC-SD60B用 1ヶ	
		はし立て	水受皿	フィルター・フィルターカバー
		1ヶ	1ヶ	各2ヶ
取付け時に必要な付属品		コネクターボルト	ワッシャ	化粧キャップ
		吊金具		
		L=30mm 4本	4ヶ	4ヶ
		L=36mm 4本	1枚	1冊
			取扱説明書	設置工事説明書
			取り付け用型紙	

取付け場所の確認

システムキッチンに吊り下げる場合の確認事項とご注意

警告

<p>吊戸棚の吊り下げ強度を確認すること</p> <p>アイゾーンキャビネットを吊り下げる前に、必ず吊戸棚の吊り下げ強度を確認してください。吊戸棚の底板には相当な荷重がかかります。確実な補強がないと、脱落事故などの原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 強度確認</p>	<p>ガス器具から15cm以上離して設置すること</p> <p>製品の熱変形や火災の原因になりますので十分注意してください。</p> <p style="text-align: center;"> ガス器具から15cm以上離す</p>
---	--



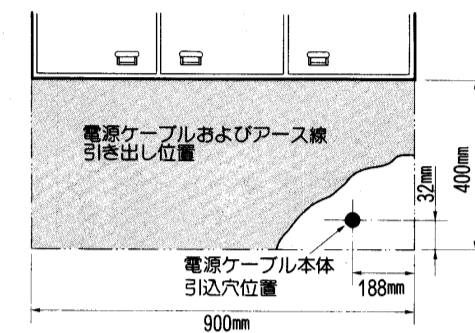
- アイゾーンキャビネットは上図の□部等へ吊り下げてください。
- アイゾーン食器乾燥庫は、使い勝手となるべく流し台シンクの上方に設置してください。
- ガス器具（ガスコンロ・ガスレンジ・湯沸し器など）や電熱器具（電気天火など）からは、必ず15cm以上離して設置してください。

2 据付けの前に

電気配線

警告

<p>電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼すること</p> <p>ご自分で配線工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 専門業者へ依頼</p>	<p>定格15A以上のコンセントを単独で使用する</p> <p>他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p> <p style="text-align: center;"> コンセントを単独で使用</p>
--	--



- 食器乾燥庫を使用するためには、AC100V 15A以上の電源容量が必要です。
- あらかじめ左記の位置に電源ケーブルおよびアース線を壁面より引き出しておいてください。（約1m程度）
- 付属の型紙を使用すると、電源ケーブル本体引込み位置の割出しが簡単に行えます。
- 電源ケーブルは、なるべく引込穴位置の付近より引き出してください。

接地工事

警告

アース工事を必ず行うこと

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事

- 漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
- アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。
- アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
- 接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

漏電しゃ断器の設置

- 万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
- 接地工事および漏電しゃ断器の設置は、電気設備技術基準および内線規定にしたがってください。

吊戸棚の吊り下げ荷重について

警告

吊戸棚を取り付けるときは、下項を参考に取り付け強度を確認すること

取り付け強度が不足すると、吊戸棚が落下し重大な事故につながる恐れがあります。

取り付け強度確認

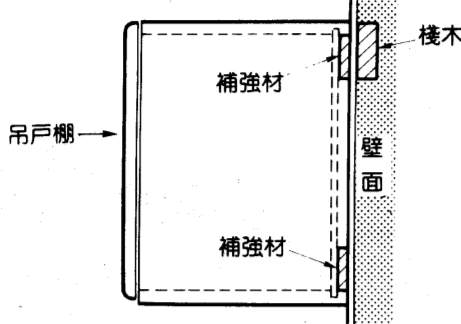
- 製品を吊戸棚に吊り下げると、吊戸棚の各部にかなりの負担がかかります。下記に注意しながら取り付けてください。
- アイゾーンキャビネットの庫内に収納物を入れると、総重量は約21Kg（BUC-SD90B）、約19Kg（BUC-SD60B）となりますので、吊り下げ強度は総重量の3倍を目安としてください。

警告

<p>据付け工事は専門業者に依頼すること</p> <p>ご自分で据付け工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因となります。</p> <p style="text-align: center;"> 専門業者</p>	<p>設置工事説明書をよく読み正しく確実に工事すること</p> <p>不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。</p> <p style="text-align: center;"> よく読め</p>
<p>アース工事を必ず行うこと</p> <p>アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> アース工事</p>	<p>定格15A以上のコンセントを単独で使用する</p> <p>他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p> <p style="text-align: center;"> コンセントを単独で使用</p>
<p>交流100Vで使用する</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> <p style="text-align: center;"> 交流100V</p>	<p>コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないこと</p> <p>コードが破損し火災・感電の原因となります。</p> <p style="text-align: center;"> 禁止</p>
<p>電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように根元まで確実に差し込むこと</p> <p>ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。</p> <p style="text-align: center;"> 点検掃除</p>	

3 据付け工事 (各機種共通)

1 吊戸棚の補強と底板芯材の確認



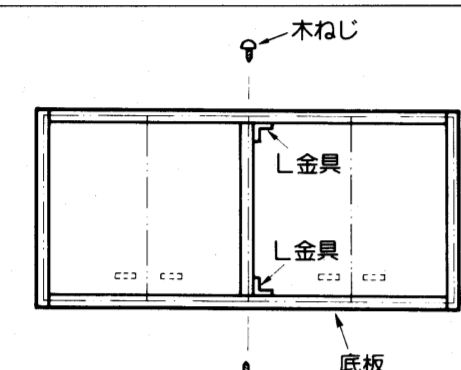
警告

桧木を確実に取り付けること

壁面が石膏ボードの場合は特に注意してください。吊戸棚が落下して、重大な事故につながる恐れがあります。

桧木を取り付ける

●吊戸棚を取り付けるための桧木を壁面に確実に取り付けてください。



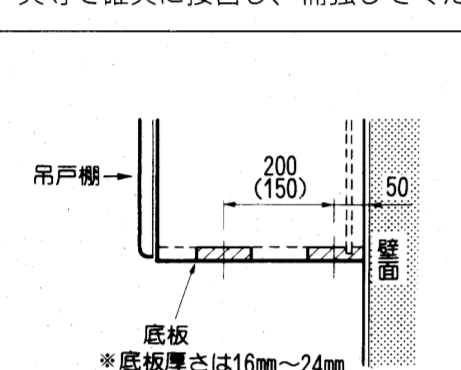
警告

仕切板はL金具等で補強すること

特に幅寸法の長い吊戸棚は必ず行なってください。補強を行わないと、底板が外れて重大な事故につながる恐れがあります。

L金具で補強

●吊戸棚底板のたわみ脱落防止のために、天板・底板と仕切板を木ねじまたは、L金具等で確実に接合し、補強してください。



警告

底板の芯材を確認すること

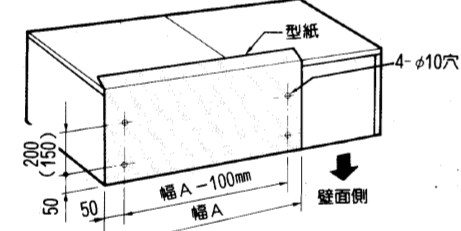
芯材がない場所にコネクターボルトを吊り下げると、底板が破れて吊り下げたアイソーンキャビネットが脱落事故の原因となります。

芯材を確認

●吊戸棚底板の上図の斜線範囲に芯材がない場合は取り付けできませんので、十分確認してください。

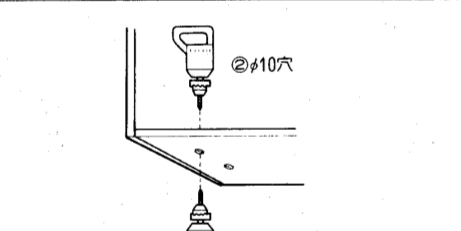
●吊戸棚前側のボルト位置は上図2ヶ所の寸法が選択できます。吊戸棚の構造により決定してください。

2 本体の取付け (単位: mm)

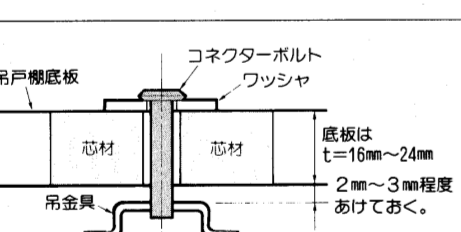


●吊戸棚の底面にコネクターボルトの取付穴(φ10穴4ヶ所)をあけるための位置出しを行なってください。

●この時、製品に付属の「取り付け用型紙」を使用すると取付穴の位置出しが簡単に行えます。



●取付穴をあける際、吊戸棚下面より直接φ10の穴加工を行なうと、底板内面が剝離する恐れがありますので、①先に下面より小径の下穴をあけた後、②吊戸棚庫内よりφ10の穴加工を行なってください。



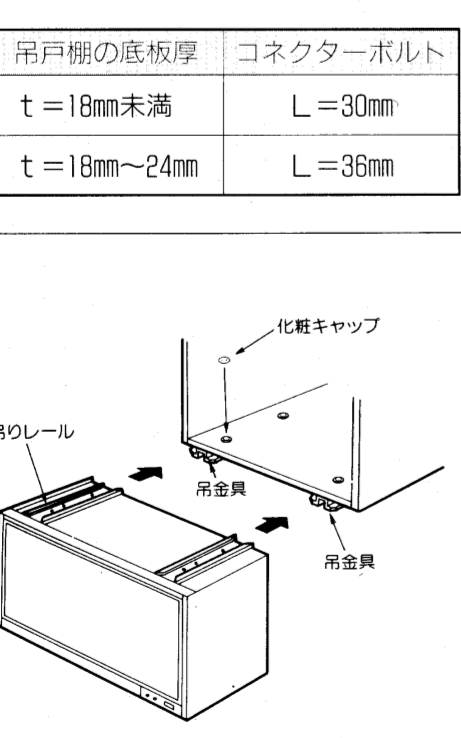
●付属のコネクターボルトにワッシャを通し、吊戸棚の庫内より取付穴に通し吊金具を取り付けてください。

●この時、吊金具と吊戸棚下面との隙間を2~3mm程あけておいてください。

●隙間がないと、アイソーンキャビネットが取り付けられないことがあります。

●コネクターボルトは左記の2種類を付属しています。吊戸棚の底板厚さに応じて使い分けてください。

吊戸棚の底板厚	コネクターボルト
t = 18mm未満	L = 30mm
t = 18mm~24mm	L = 36mm



●製品取付面より下部に扉等の突起がある場合は、あらかじめ取りはずしておいてください。

●吊戸棚に取り付けた吊金具にアイソーンキャビネットの吊りレールを合わせ、本体を後ろへ押し込んでください。

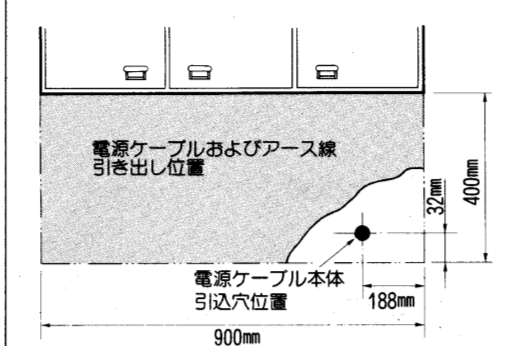
●吊戸棚の庫内からドライバーでコネクターボルトを締め付け、本体を締付けてください。

※吊金具と吊りレール間は少しガタを持たせてありますので、アイソーンキャビネットの納まり具合を見ながら、コネクターボルトを締付けてください。

●最後に、コネクターボルトの頭部に化粧キャップをはめ込んでください。

3 電気配線

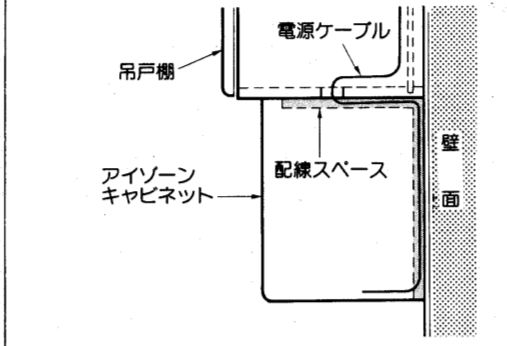
A 電源直結配線タイプの場合



●あらかじめ左記の位置に電源ケーブルおよびアース線を壁面より引き出しておいてください。(約1m程度)

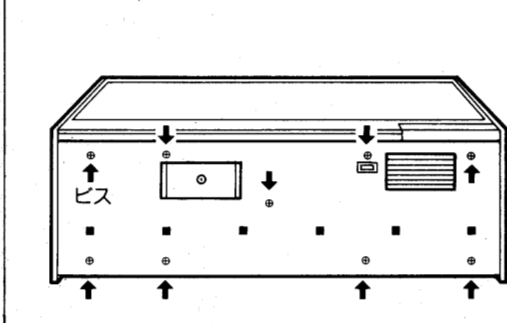
●付属の型紙を使用すると、電源ケーブル本体引込み位置の割出しが簡単に行えます。

●電源ケーブルは、なるべく引込穴位置の付近より引き出してください。



●増改築等で電源ケーブルが壁面より引き出せない場合は、左図に従い吊戸棚側より引き込んでください。

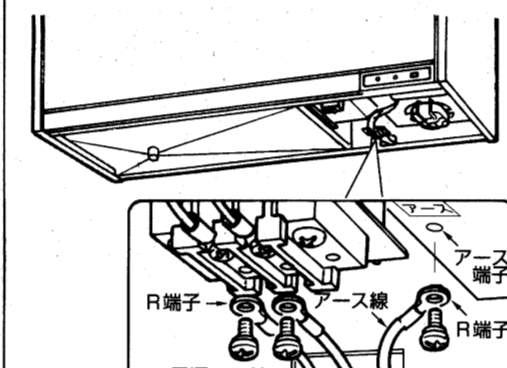
●製品の背面には、配線スペースが確保されています。



●製品の底板を取りはずします。

お願い


この時、電装部品等に触れないよう十分注意してください。故障の原因になります。



●製品背面のゴムプッシング部分より、電源ケーブルを挿入し製品を吊り下げます。

●内部端子台に端末をR端子処理した電源ケーブルとアース線を接続してください。

B 電源コード差し込みタイプ(壁面露出コンセント方式)の場合



本体背面の電源コード引出し口より1.2m以内の位置に電源コンセントを設けてください。

食器乾燥庫の下面に別販の専用照明器具を取り付ける場合は、左記指定コンセント、アース端子を左図の位置に設置しますと、目立たずすっきりと配線処理ができます。詳しくは照明器具に付属の「設置工事説明書」をご覧ください。


増改築等で、露出コンセント用の電源ケーブルが壁面より出せない場合は、上記1に従い吊戸棚側から配線してください。

推奨コンセント

メーカー名	品番	用途
東芝ライテック	DC-1122	2個口
松下電工	WK-1013	2個口
	WK-1022	3個口

4 工事完了後の確認

排水について



水受皿取付け金具に付属の水受皿を取り付けてください。

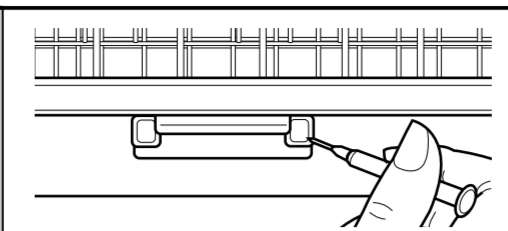
水受皿を取り付けず、直接流し台シンクへ排水するようなことはおやめください。

扉の開閉ロックの確認

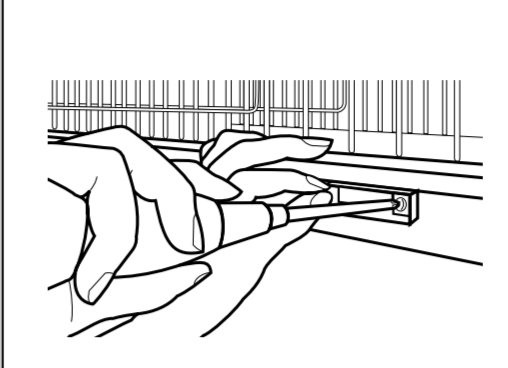
設置工事終了後、扉開閉ロック力の強度を確認してください。

扉のロック力は調整出来る機構が備え付けてあります。

強すぎる場合、弱すぎる場合は次項の要領で調整してください。



扉を開け、ロック受けの両端のシールを精密マイナスドライバーまたは、ピンなどで図のように剥がします。剥がしたシールは小さくさないようご注意ください。

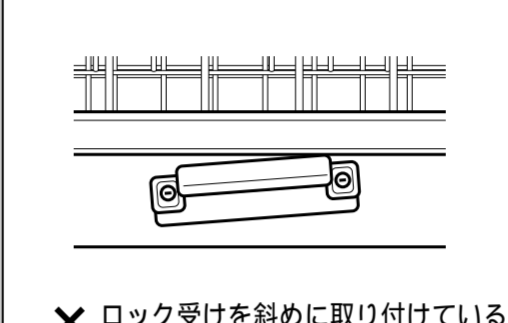


剥がした後、ロック受けを取り付けているねじを図のように緩めます。

緩めた後、ロック受けを扉のロック力のちょうど良い力の位置になるように調整します。調整は下記を参考にしてください。また調整範囲は上いっぱいを目とし、下に1.8mm調整が可能です。

・ロック受けが高い位置→扉ロック力が弱くなる

・ロック受けが低い位置→扉ロック力が強くなる



ロック受け取り付け時、図のように斜めに取り付けずロックが正常に機能しません。ロック受け取り付けの際、ロック受け上面に平らなスペーサー等をかませて取り付けるようにしてください。

ロック受けの取り付けが完了しましたら、剥がしたシールをもとの箇所へ貼りなおしてください。

× ロック受けを斜めに取り付けている

試運転

製品下面にある主電源スイッチを「入」にします。

操作部の入/切スイッチを押して作動の確認をしてください。

また、運転中の製品のガタツキやブレ音がないことを確認してください。

試運転が完了した後、取扱説明書に従いお客様へ正しい使い方や、注意事項を十分説明してください。

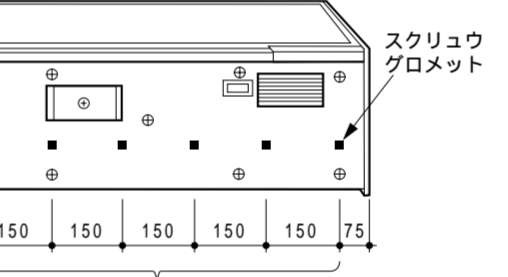
照明器具の取付けについて

警告

製品の底板に穴をあけないこと

製品底板のスクリュウグロメット以外の場所に穴をあけることは絶対にしないでください。故障や感電の原因になります。

禁止

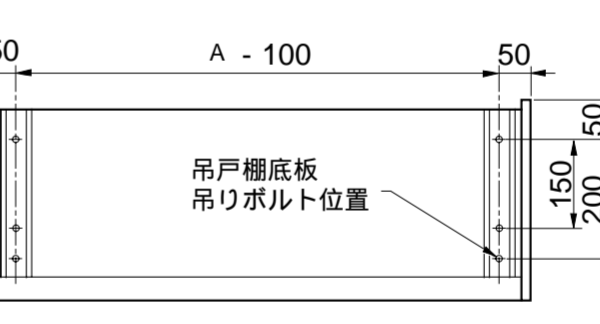
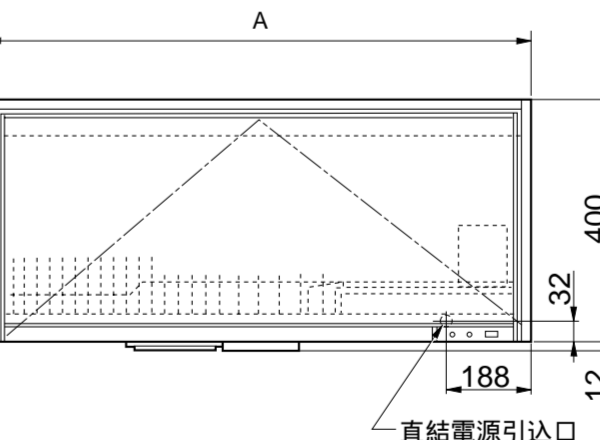
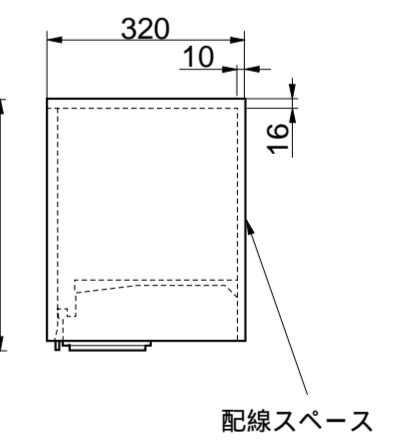


スクリュウグロメット

東芝アイソーンキャビネットシリーズには専用の照明器具が取り付けられる構造になっています。製品底板のスクリュウグロメットの位置に合わせて照明器具を取り付けます。照明器具の取り付けについての詳細は、照明器具に付属の設置工事説明書をご覧ください。

150mm間隔にて装着してあります。(個数は製品の幅寸法により異なります。)

外形寸法 (単位: mm)

品名	食器乾燥庫	食器乾燥庫
形名	BUC-SD90B	BUC-SD60B
幅(A)	900mm	600mm
奥行	320mm	
高さ	412mm (製品高さ400mm)	
質量(重量)	15kg	13kg

株式会社 **東芝** 家電機器社 レンジ・調理部

〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1 (東芝ビルディング)

TEL.03-3457-3565